

放射線治療室の概要

北海道がんセンターの放射線治療は、5 名（うち非常勤1名）の放射線治療科医師、3 名の放射線治療科外来看護師、1名のがん放射線療法看護認定看護師とともに、9名の診療放射線技師（うち副診療放射線技師長1名、主任診療放射線技師3名）が業務を担っております。診療放射線技師の業務は、照射業務、治療計画業務、品質管理業務等が含まれ、スタッフ内で分担して業務を行っております。

北海道がんセンターの放射線治療は、検査棟地下 1 階の放射線治療室で行われています。放射線治療室には、直線加速器(リニアック[※])により放射線(X 線・電子線)を照射して治療を行う3台のリニアック室、治療計画 CT を撮像する CT シミュレータ室、リモートアフターローディングシステム(RALS)を備えた密封小線源治療室、治療計画装置 (RTPS) による治療計画の立案を行う治療計画室などを備えております。

また、放射線外来も放射線治療室のすぐ近くにあるため、治療前後の診察などの利便性が非常によく、スタッフ間の連携も取りやすい環境となっております。

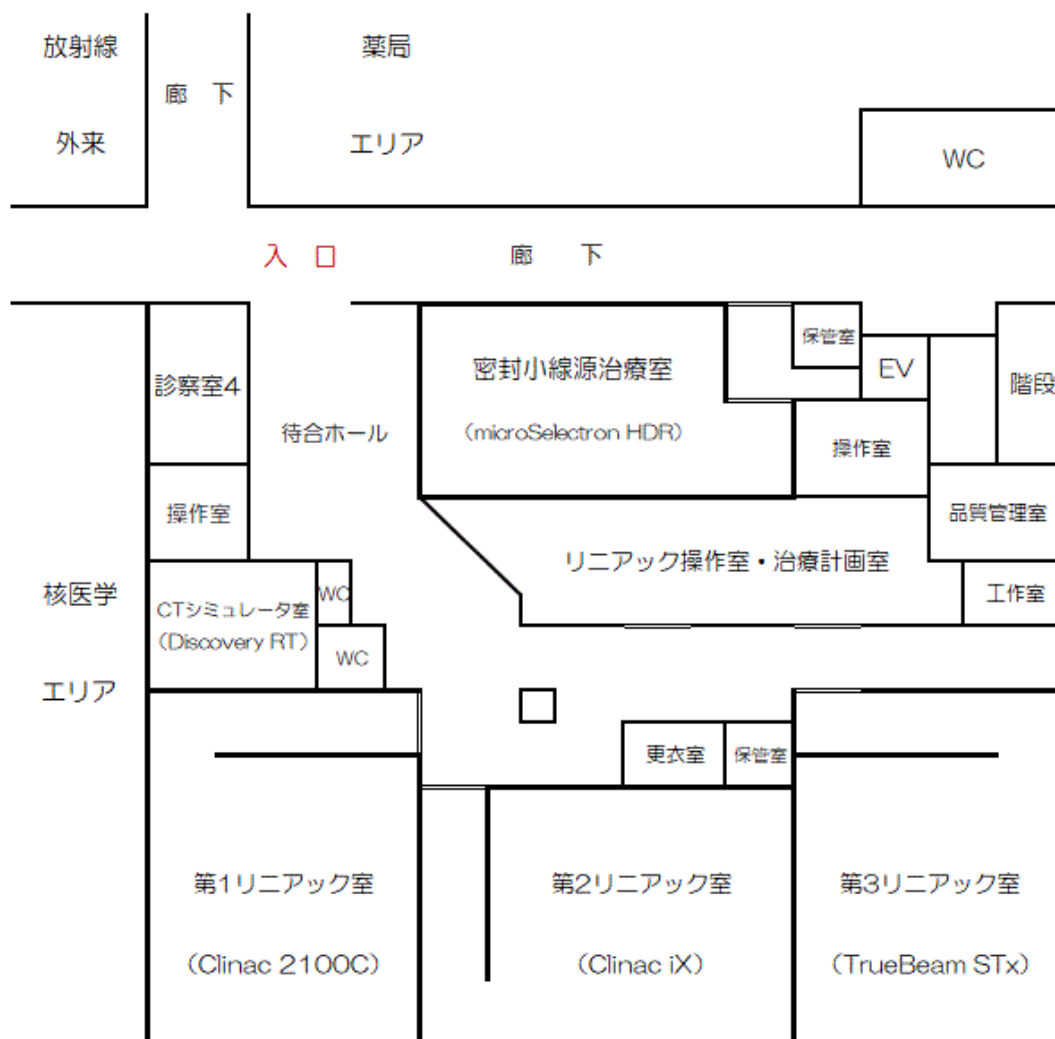
※ 『リニアック』は直線加速器の英語: Linear Accelerator の頭文字を取った呼称です。



放射線治療室入口



入口から見た放射線外来



放射線治療室の案内図